

発行：ひたちなか市の環境を良くする会  
 会長 小川 和 昭  
 編集：広報委員会  
 監修：ひたちなか市環境保全課

# 環境かわら版

湊本町・田中町自治会と協働  
 令和元年度 第2回

## 那珂湊漁港ごみ除去活動

令和元年12月25日（水）、那珂湊漁港の海岸で、自治会会員及び本会会員がごみの除去活動を行いました。

10月に実施した防波堤周辺での活動に続いて、今回は空地を除草して行いました。回収量は、燃やせるごみ130kg、燃やせないごみ108kgでした。ポロポロのレジ袋やプラスチックの容器が多く、朽ちて汚れており、缶や瓶も、錆びや



ごみ除去作業の様子

汚れがひどく資源ごみに出せない状態でした。この地域は、地域住民による一斉海岸清掃場所の範囲外なので、長年放置されていたごみが多くあります。防波堤周辺には、前回のごみ除去活動後に新たなごみが捨てられていて残念でした。



回収したごみ

## 環境シンポジウム2020

2月8日（土）、市文化会館小ホールで、環境シンポジウムが開催されました。

始めに、環境保全啓発ポスターコンクールの表彰式がありました（ポスターは2面に掲載）。続いて、小学校・中学校・事業

総会開催のお知らせ  
 日時：4月25日（土）  
 午前10：00～  
 場所：ワークプラザ勝田  
 大会議室  
 入会の受付は随時行っております。  
 環境を良くすることを一緒に考えてみませんか。

所の環境活動事例発表があり、本会事業所会員の榊小松製作所茨城工場が「コマツ茨城工場 全員参加の環境活動」について発表しました。本来業務に基づく環境改善を基本方針として、アイデアを出し合い、できることから積極的に取り組んだという内容でした。例えば、廃棄物に対する取り組みとして、○燃やせるごみ、燃やせないごみの分別ではなく、廃棄物の名前ごとに分別する。○担当者の名前をごみ箱に書く。○各部署で不用品を譲り合う。○梱包材を有効に利用するなどを行っていました。また、工場周辺の緑化・美化に努め、地域のイベントにポロン

ティアとして参加するといった内容を発表していました。

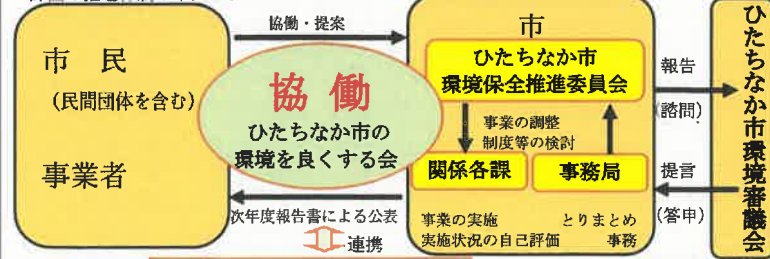
最後に、本会がお楽しみ抽選会を行いました。事業所会員から、た



抽選会景品

くさんの景品を提  
 供いただき、盛況なアトラクションとなりました。

計画の推進体制のイメージ



本会は、「ひたちなか市環境基本計画」に基づいて設立され、市民の身近な自然や環境を大切にすることを育むこと、環境保全行動の定着を図ることを目的に活動しています。具体的には、ごみ問題、地球温暖化防止、自然環境保全のテーマ毎に取組を計画し活動を行っています。

問合せ・申込先：ひたちなか市環境保全課  
 TEL 273-0111 (内線 3312)

ひたちなか市の環境を良くする会 検索

# 令和元年度 環境保全啓発ポスターコンクール受賞作品

最優秀賞



長堀小2年 かざま ちづる 風間 千弦さん



市毛小5年 おおめき あいか 大貫 愛華さん



勝田二中2年 すずき ここな 鈴木 心乃さん

優秀賞



外野小3年 かわさき るみ 川崎 琉未さん



東石川小4年 おおうち りお 大内 理央さん



勝田三中2年 いいむら みな 飯村 美奈さん

佳作



佐野小1年 はまもと けいご 濱本 圭吾さん



田彦小4年 むとう しおね 武藤 汐音さん



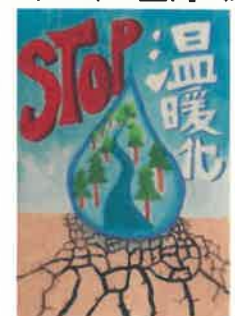
勝田三中1年 とよしま りょう 豊島 涼さん



佐野小3年 なかむら かいせい 中村 海慳さん



長堀小6年 むらき しゅんや 村木 俊哉さん



勝田二中2年 しちじ そら 七字 碧空さん



湊三小3年 ふかさく つむぎ 深作 紬希さん



前渡小6年 さわはた けいすけ 澤島 佳佑さん



勝田二中3年 よこた こうしろう 横田 昂志朗さん



環境かわら版第31号でSDGs（エスディーゼズ）について紹介しました。SDGsとは、「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」のことで、社会が抱える貧困、不平等や気候変動などの問題を解決し、世界全体で2030年を目指して明るい未来を作るための17のゴール（目標）と169のターゲット（達成基準）で構成されています。本会では、これらの目標と関連する活動を行っております。環境かわら版第32号では「廃棄物の発生を減らす活動」、第33号では「海洋汚染を防ぐ活動」を紹介しました。今回はSDGsの目標15「陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する」に関連する活動を紹介いたします。

### 美田多地区森林保全活動

期間 平成31年4月～令和2年3月

美田多町の熊野神社下に広がる風致地区傾斜地の竹を間伐するとともに、傾斜地の下を流れる小場江用水路沿いの竹・雑木を間伐し搬出用山道の開拓を推進しました。間伐した竹は枝打ちした後3m程度に切断し、搬出して竹細工や竹炭の材料としました。

参加総数

今年度2月末まで 108名  
(昨年度は延べ73名)



### 多良崎城跡の自然保護活動

～自然観察会・篠竹の刈り取り～

5月の自然観察会の参加者は35名でした。山野草の咲きも1週間位早まっているようでした。また、その種類も少なくとも33種になりました。

また、篠竹の刈り取りは11月から今年度の作業を始めました。刈り取りをする斜面と篠の状況が良ければ、昨年を上回る本数を伐採できそうです。刈り取った篠竹は、野菜づくりの支柱等に利用されています。篠竹の刈り取りは、自然のサイクルを直接、体で知る良い機会です。

しかし、残念なことがいくつかあります。まず、増加している盗掘です。盗掘跡が8ヶ所も発見され、そのうちの1ヶ所は、フレンドウの群落全体が盗掘されており、城跡から消滅してしまいました。

さらに、前年度から城跡内（2の郭と3の郭の間の広場）に許可なく歩道や階段、ウサギやイタチなどの小動物しか入ることができない小さな小屋、畑が作られていました。そこで、これらを撤去し、原状を回復するよう市に要望し、令和元年10月に撤去されました。この城跡は市の指定史跡になっております。鎌倉時代末期に造られ、まだ全ての調査が終了していないそうです。許可なく建物を建てたりすることは禁じられています。このような行為はやめてください。

多良崎城跡作業担当 黒澤 恒康



### 段ボールコンポスト講習会

令和元年11月26日、ふあみりこらほで、第2回目の段ボールコンポスト講習会を開催しました。リピーターも含め17名の方が参加され、説明に熱心に耳を傾け、手際よく製作することができました。質疑応答では数多くの質問があり、有意義な講習会となりました。

さて、私の所属するワンネス劇団では夏祭りなどで環境劇を行っていますが、その中で段ボールコンポストのことを「入れても入れても中身が増えない魔法の箱」と呼んでいます。段ボールの中に、ホームセンターなどで売っているピートモストもみ殻くん炭を入れ、生ごみを入れてかき混ぜるだけです。毎日生ごみを入れても、土中の微生物が生ごみの成分である有機物を分解してくれるの

で、中身はほとんど増えません。材料は安価で簡単に手に入り、中身は堆肥として使うことができます。家庭から出る燃やせるごみを4割近く減らすことができ、堆肥も作れ、さらに地球温暖化防止にも役に立つ、この魔法の箱をぜひ、皆さんも一緒に作ってみませんか。

(厚見)



### 会員だより

ひたちなか市の駅前、昭和通り、県道ほか街路に食品の袋や空き缶、空き瓶をよく見かけ、観光、衛生、教育等に影響が大きいと思います、自分ができることに努めてきました。

段ボールコンポスト講習を受け、産業祭ブースや環境シンポジウムでごみ問題の発表を聴き、市役所で会に加入手続きをしました。温暖化防止分科会の1年生です。

可燃ごみの多くがプラスチック製品であることに改めて気づきます。街路のプラごみが雨水溝から海岸に運ばれ、劣化してマイクロプラスチックとなるでしょう。市の資源回収で長年、大量のプラスチック包装材を回収していますが、根本的な対策として、その生産、加工を環境に影響がない水準まで低減できるとよいのではないのでしょうか。

(河村)

### 「緑のカーテン」 私たちも取り組んでいます③

田彦コミュニティセンター

今回で7回目の「緑のカーテン」チャレンジです。昨年夏の酷暑でゴーヤの苗が枯れてしまい、苗の植え直しをしました。その後は、毎日水やりをするたびに大きくなる葉が日当たりの良過ぎる南向きの窓辺を覆い隠してくれ、心地良い日陰を提供してくれました。そのお陰で窓辺の暑さは大分和らぎました。

ゴーヤは毎日のようにたくさん実り、みんなで美味しい食べ方談議に花を咲かせました。また、緑のカーテンを目にした来館者の方々から、育て方や食べ方等色々なアドバイスをいただきました。緑のカーテンは地域のふれあいの輪も広げてくれました。この輪を来年も再来年も大切に繋いでいきたいと思っています。

(田彦コミュニティセンター 大貫千尋)



事務室から  
◀中庭のようす  
育成面積  
27㎡

### ひたちなか市の環境を良くする会 事業所会員の紹介

 <p>人と自然への思いやりを大切に <b>勝田環境</b> KATSUTA KANKYO</p>	 <p>茨城県ひたちなか市和田町 8-18400-2</p>	 <p>Global teamwork コマツ 環境工場 KOMATSU</p>	<p>私たちは、 美しい地球を次の世代へ のスローガンのもとに、一丸となって地球環境の継続的改善と環境汚染予防活動を推進しています。 曜日立製作所水戸事業所</p>	 <p>ひたちなか・東海 ハイトラスト株式会社 ひたちなか市新光町 103-2 TEL (029) 265-5371</p>	<p>ガーデン・エクステリアのデザイン・施工 <b>Maki planning</b> http://www.maki-planning.com/ プロの庭師・造園の専門店 <b>Mam's garden</b> http://www.mam-pls.com/</p>
 <p><b>セイワ</b> ひたちなか馬渡店</p>	 <p>木質バイオマス発電所 (株) バイオパワー勝田 ひたちなか市高野 1974-1 TEL:029-270-3341</p>	<p>廃棄物の中間処理施設 <b>KATSUTA</b> 株式会社 <b>カツタ</b> ひたちなか市高野1968-2 TEL(029)270-8711#0 http://www.eco-katsuta.com/</p>	 <p><b>HiKOKI</b> 工機ホールディングス(株)</p>	<p>リコーインダストリー(株) 勝田事業所 ひたちなか市新田1060 www.industry.ricoh.co.jp</p>	 <p>社会福祉法人 ひたちなか市 社会福祉協議会 ひたちなか市</p>